

製品名: BRAT1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21234**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:100-1:300,FC 1:100-1:300,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW::Observed MW:90kD

抗原情報

遺伝子名	BRAT1;BAAT1;C7orf27
別名	BRAT1;BAAT1;C7orf27;BRCA1-associated ATM activator 1 ;BRCA1-associated protein required for ATM activation protein 1;
遺伝子 ID	221927.0
SwissProt ID	Q6PJG6
免疫原	ヒト BRAT1 の組み換えタンパク質

背景

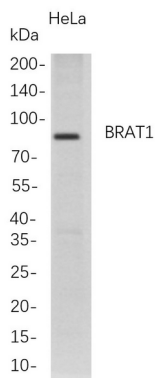
細胞局在: 核。細胞質。注: 電離放射線照射後の二本鎖切断 (DSB) 部位に存在する。ユビキチン化された形態は NDFIP1 依存的に

核内に局在する。この普遍的に発現する遺伝子によってコードされるタンパク質は、腫瘍抑制タンパク質 BRCA1 (乳がん1型) および ATM (毛細血管拡張性運動失調症変異型) タンパク質と相互作用する。ATM は、電離放射線によって誘発される二本鎖切断などの DNA 損傷に対する細胞応答に必要な細胞周期チェックポイントシグナル伝達経路のマスターコントローラーであると考えられており、多タンパク質複合体 BASC (BRAC1 関連ゲノム監視複合体) において BRCA1 と複合体を形成する。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、BRCA1 および ATM によって制御される DNA 損傷経路において何らかの役割を果たすと考えられている。
[RefSeq 提供、2012年3月]

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞全細胞ライセートのウェスタンブロット解析では、4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを抗 BRAT1 ウサギモノクローナル抗体でプロットティングした。抗体の検出には、HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。